

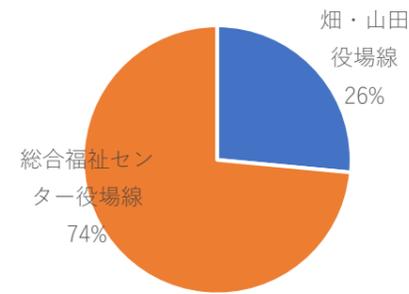
太子町コミュニティバス 1 年間の乗車実績と効果  
(2020 年 6 月 1 日～2021 年 5 月 31 日)

# 1.乗車実績

## ■年間乗車人数

- 1年間で約7,900人の利用があり、その約7割が総合福祉センター役場線の利用者。
- 年間の1日当たりの平均乗車人数は21.5人/日。

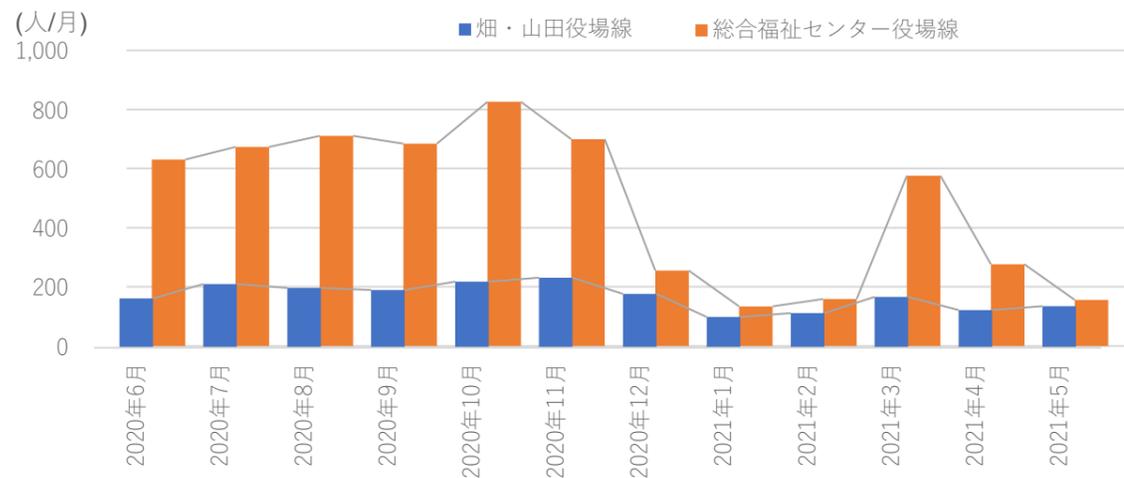
	乗車人数 人/年
畑・山田役場線	2,083
総合福祉センター役場線	5,781
合計	7,864



▲ 路線別割合

## ■月別乗車人数

- 畑・山田役場線は2020年11月がピークとなり、2021年1月2月など緊急事態宣言、総合福祉センターの閉館の影響を受け半分程度の乗車人数となっている。
- 総合福祉センター役場線は2020年10月がピークとなり、2020年12月～2021年2月に同影響を受け、ピーク時の2～3割の乗車人数となっている。



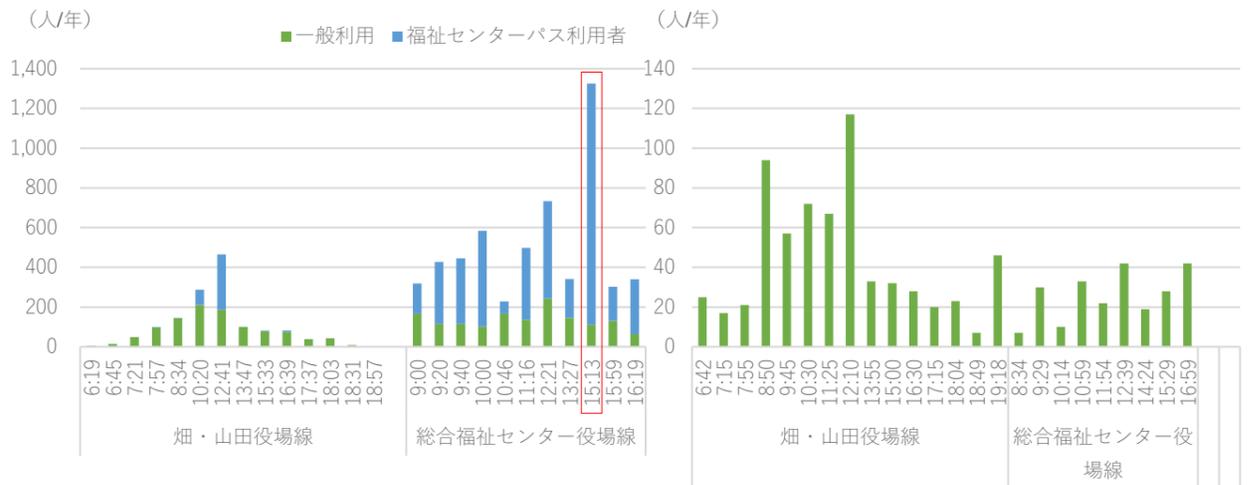
緊急事態宣言等

福祉センター開館状況



## ■時間帯別乗車人数

- 平日では、両路線とも昼間の時間帯の利用が多い。特に総合福祉センター役場線では15時台での総合福祉センターバス利用者が多い。畑・山田役場線では、朝夕の時間帯では利用者が少ない。
- 休日では、畑・山田役場線の方が利用者が多く、昼間の時間帯の利用が多い。(※縦軸数値が異なることに注意)

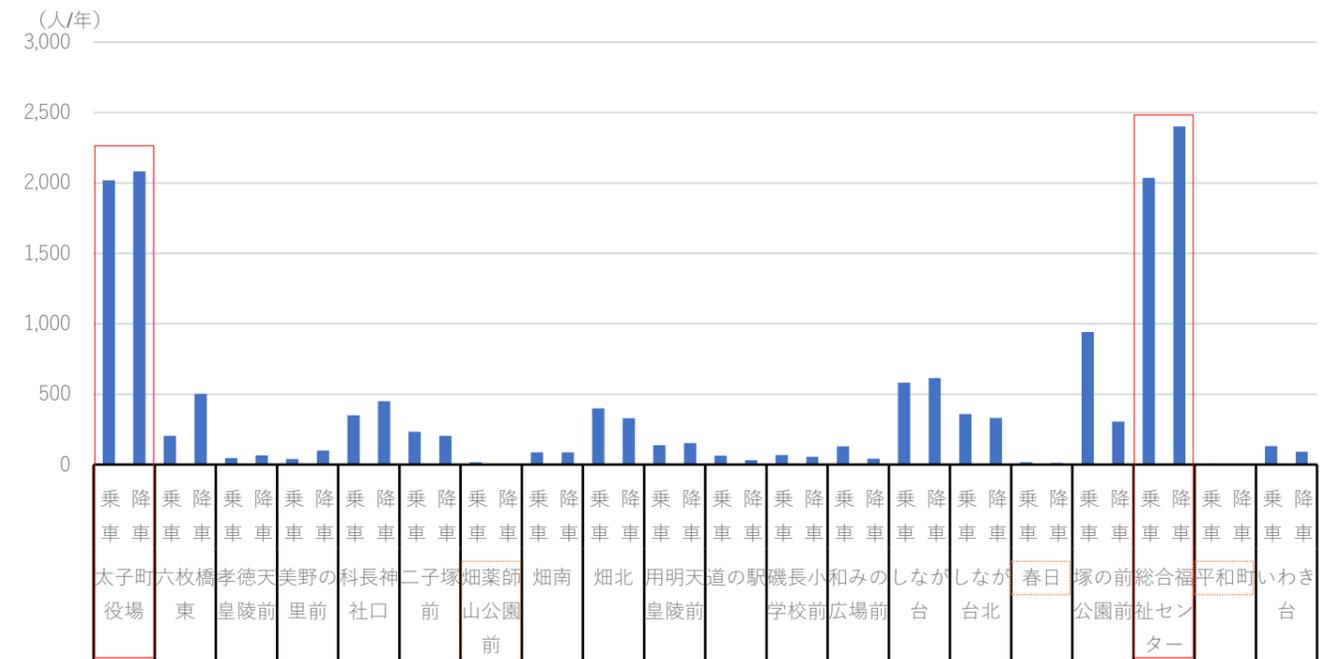


▲ 時間帯別乗車人数 (平日)

▲ 時間帯別乗車人数 (休日)

## ■バス停別乗降人数

- 総合福祉センター、太子町役場の乗降が多い。
- 平和町、春日、畑薬師山公園前など利用者が非常に少ないバス停がある。



▲ バス停別乗降人数 年間計

## 2.運行に係る経費・収入

- 太子町コミュニティバス運行に係る経費は年間約 1,680 万円。
- これに対して運賃の現金収入が約 25 万円、各種支援制度による代替収入額を含めると、約 130 万円となる。

### ▼ 太子町コミュニティバス運行に係る経費 ▼ 太子町コミュニティバス運賃収入

運行管理委託料	13,500,000
燃料費	1,394,892
修繕費	1,831,928
車検等手数料	63,970
合計	16,790,790

(単位：円)

現金収入	253,650
お出かけ支援事業補助金	220,400
乗り継ぎ支援	36,880
総合福祉センター支援	793,760
合計	1,304,690

(単位：円)

## 3.収支率

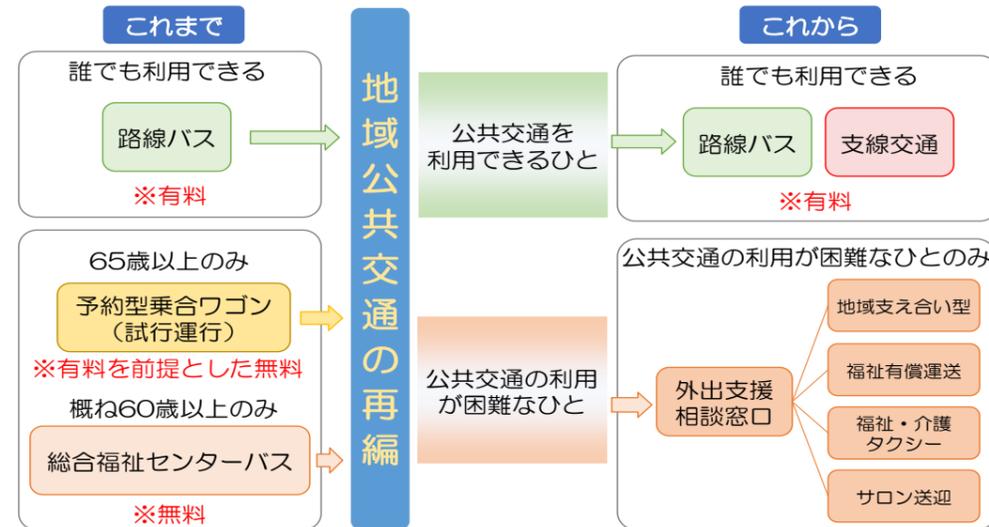
- 太子町コミュニティバスの収支率（現金以外の各種支援制度代替収入額含む）は、約 8%となっている。

### ▼ 収支率

収入	1,304,690
支出	16,790,790
収支率	7.8%

## 4.地域公共交通の再編による状況・効果

### 【地域公共交通の再編の考え方】



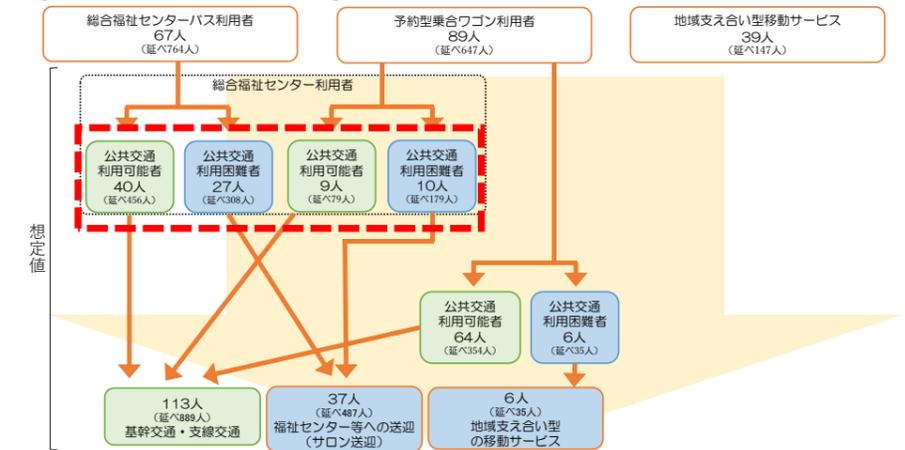
#### 【主な再編内容】

- 金剛バスによる新規運行（太子中央循環線、聖和台循環線、畑・平石線）  
⇒公共交通空白・不便地域の解消
- 太子町コミュニティバスの運行  
⇒公共交通空白・不便地域の解消、総合福祉センターバス・予約型乗合ワゴンの再編、年齢等の利用制限の解消
- 福祉移動サービスとの協働  
⇒公共交通の利用が困難なひとのフォローアップ
- 関連施策
  - 総合福祉センター特別乗車証の発行（総合福祉センター利用者の運賃無料）
  - お出かけ支援利用券の発行（太子町を走るバスの 100 円割引券（70 歳以上））
  - 乗り換え割引券の発行（太子町コミュニティバス⇄路線バスの乗り換え券）
  - 乗り換え拠点での利便性向上（太子町役場バス停の設置（旧六枚橋バス停からの移設））
  - 梅川橋バス停の新設（商業施設へのアクセス向上）

## 【総合福祉センター・予約型乗合ワゴン利用者の動向】

- 総合福祉センター利用者は地域公共交通の再編により太子町コミュニティバスやサロン送迎等に移行しており、再編による総合福祉センター利用者への影響はないと考えられる。
- 予約型乗合ワゴン利用者は地域公共交通の再編により太子町コミュニティバス、サロン送迎、地域支え合い型移動サービス等に移行している。

[数値：平成31年3月利用分（1か月）]



[数値：令和2年10月利用分（1か月）]

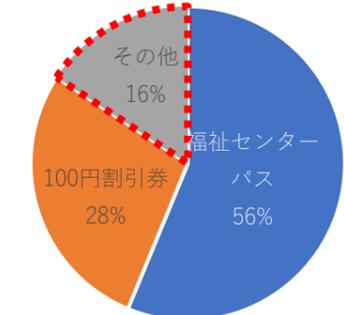


※月あたりの利用者数（実人数と延べ人数）

## 【年齢等の利用制限がないことによる効果】

- 総合福祉センターバス利用者（概ね 60 歳以上対象）、お出かけ支援制度（100 円割引券・70 歳以上対象）利用者を除くと、乗車人数の 16%、年間 1,238 人の利用があった。

	乗車人数	福祉センターバス	100円割引券	その他
年間利用者	7,864	4,422	2,204	1,238
制度利用割合		56%	28%	16%



▲ 各種支援制度利用割合（乗継割引券除く）年間

## 【想定利用人数の達成状況】

- 太子町コミュニティバスの実証運行開始に際して想定した利用人数と比較すると、総合福祉センターの利用者・利用以外のどちらも想定利用人数に達しておらず、想定 63%となっている。

### ▼ 年間実績の達成状況

	想定	年間実績	達成状況
	人/年	人/年	人/年
コミバス利用人数（福祉センター利用）	6,500	4,422	68%
コミバス利用人数（福祉センター利用以外）	6,000	3,442	57%
合計	12,500	7,864	63%

【年間事業費】

- 太子町コミュニティバスの運行費用は当初の想定より約 230 万円増加した。
- 支援制度等を含めた合計は 2430 万円となり、コロナ禍による影響もあり、想定よりも約 380 万円少なくなった。

▼ 年間事業費

	事業費	
	実績	運行前の想定
太子町コミュニティバスの運行費用	1679万円	1450万円
福祉センター利用者支援制度	84万円	150万円
乗換運賃補助	12万円	250万円
地域支え合い型移動サービス（強化）	34万円	50万円
サロン送迎事業	366万円	260万円
お出かけ支援制度事業	255万円	650万円
合計	2430万円	2810万円

（※各種支援制度等は金剛バス利用分を含む）

まとめ

- 新型コロナウイルス感染拡大防止のための外出自粛の影響、総合福祉センターの閉館等の影響のため、検証が不安定なものとなった。
- 地域公共交通の再編により、誰もが利用できる公共交通ネットワークの充実を図ることができた。
- 新型コロナウイルス感染拡大防止によりできなかった利用促進活動や商業施設へのアクセスなどの新たな課題について、今後取り組む必要がある。
- コロナ禍による影響がおさまった状態で効果検証を行い、より太子町にあった公共交通を検討していく必要がある。